

第26回伊豆沼・内沼の自然フォトコンテスト最優秀賞(宮城県知事賞)



「暁に翔る」 渡邊 興次 (敬称略) 東松島市

～写真展が開催されます～

【展示期間と場所】

H29/2/1～H29/3/31 宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター

全作品展示

H29/5/2～H29/5/30 登米市伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター

入選作品展示

H29/6/1～H29/6/29 登米市役所一階ロビー

入選作品展示

H29/7/3～H29/7/21 栗原市役所一階ロビー

入選作品展示

H29/8/1～H29/8/31 栗原市サンクチュアリセンターつきだて館

入選作品展示

伊豆沼・内沼自然体験講座：ガンの飛び立ち観察会&沼歩き探鳥会

1月14日、第10回自然体験講座が開催されました。今回は「ガンの飛び立ち観察会&沼歩き探鳥会」の第2弾。当日は今季最強の寒波が日本列島に襲来。凍てつくような寒さのためか、辺りが明るくなってもガンたちはなかなか飛び立ってくれませんでした。でもそのぶん、眠りから覚めて飛び立ちに至るガンの行動をじっくりと観察することができました。飛び立ちを見た後は、当館の農家レストラン四季味にて朝食。出来立てほかほかの食事が冷え切った体を温めてくれました。さて今年度の自然体験講座はこれにて全ての企画が終了。来年度も様々な講座を開催予定です。どうぞご期待下さい。



ガンの飛び立ち観察
飛び立ちの瞬間まであと少し！

滝川高校来館

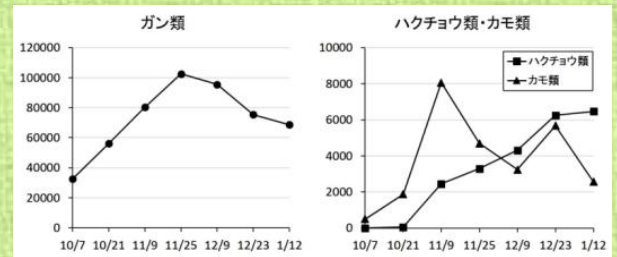
文部科学省からスーパーサイエンスハイスクールの指定を受けている北海道滝川高校の教諭、生徒8名が1月5～6日に来館しました。ドローンの飛行実習、二枚貝の飼育観察、マガンの飛び立ち、ねぐら入りの行動観察などを行いました。保全対策の実践的な現場で、生徒たちはメモをとりながら熱心に勉強していました。



※ドローン実習風景※
滝川高校の皆さんを空からパチリ

今冬はハクチョウが多かった ガンカモ類の集計結果 中間まとめ

ガンカモ類の越冬期も終盤に入ったところで、定期的に行っている羽数カウントの結果をまとめてみました。まずガン類は平年とほぼ同じレベルで順調に推移し、ピークは11/25で10万羽を超えました。カモ類は晩秋の11/9に約8千羽が記録された後、2千羽から6千羽の間で増減しています。ハクチョウ類は回を重ねるたびに増加し、1/12現在で6千羽以上に達しています。ハクチョウの数が目立って多いことが今冬の特徴です。今季は沼の水位が低く、主な食物であるハスの地下茎(レンコン)をいつも以上に得られることが、平年に比べてハクチョウが多い理由の一つでしょう。



ガンカモ類羽数の経過 (2016年～2017年越冬期)



レンコンを食べるオオハクチョウ

伊豆沼・内沼生き物図鑑

北国の冬は寒さが厳しく、つらい日々が続きますが、一面の枯れ野原も目を凝らせば様々な生き物が見つかります。先日水生植物園で春の七草を探したのですが、上手く見つからなかったため、他に食べられる植物が生えていないか探してみました。ハコベ、ギシギシ、スイバ、ヒメジョオン、カラスノエンドウ、ハルザキヤマガラシ、ノグシ・・・色々見つかりました。ギシギシは若芽に“ぬめり”があるため別名オカジュンサイとも呼ばれ、酸味のきいたその味は伊豆沼の本家ジュンサイとは違った美味しさがあります。また、紀元前の古代オリエントでは、カラスノエンドウはエンドウマメなどと同様に野菜として畑で栽培されていたそうです。年初の草摘みは古から続く風習です。みなさんも春を味わってはいかがでしょうか。



ギシギシの葉

第11回伊豆沼・内沼研究集会を開催します



伊豆沼・内沼ではさまざまな分野の研究が行われています。この研究集会は、伊豆沼や内沼などの湿地に関する研究をしている方々の発表の場となっています。もし興味がありましたら、どなたでもお気軽にお越しください。

日時: 2017年2月18日(土) 13:30～17:00

場所: 宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター研修室

<事務局>

〒989-5504 宮城県栗原市若柳字上畑岡敷味17-2

(公財) 宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団

ホームページ: <http://izunuma.org/>

Tel: 0228-33-2216 Fax: 0228-33-2217

E-mail: izunuma@circus.ocn.ne.jp